

きずな

愛知県立港特別支援学校PTA進路委員会

令和六年三月 一日発行

施設見学会報告

第一回 施設見学会

Aコース【参加人数十六名】

七月三日 月曜日

十三時三十分～十四時三十分

七月七日 金曜日

十時三十分～十一時三十分

「ふれ愛名古屋 s a t s u k i」

※ 重度障害者生活介護

名古屋市港区九番町四丁目

六番地の一

Bコース【参加人数十四名】

七月四日 火曜日

十一時～十二時

「名古屋ライトハウス光和寮」

※ 就労継続支援B型・生活介護な

どの多機能事業所

名古屋市昭和区川名本町一・二十

第二回 施設見学会

Aコース【参加人数十三名】

十一月七日 火曜日

十時三十分～十一時三十分

「福祉サービス事業ココロ」

※ 生活介護

名古屋市緑区鳴海町小森五十六・四

Bコース【参加人数十二名】

十一月二十日 月曜日

十一時～十二時

「クリエイト東茶屋」

※ 通所生活介護

名古屋市港区東茶屋二丁目三百番

「施設見学の感想」

第一回施設見学会

「ふれ愛名古屋 s a t s u k i」

見学して

中二・保護者 河合千枝子

「ふれ愛名古屋 s a t s u k i」は港区九番町にある重度障害者生活介護です。どんなに重い障害があっても、当たり前のように笑顔で暮らせる地域（未来）を創りたいという思いで、お母さん達と一緒に立ち上げられた施設です。

見学に行った日も、利用されている八割ほどの方が医療的ケアを受けている方たちでした。そのため、看護師のスタッフが多くいて、マンツーマン以上の手厚い、充実した体制がとられていました。

また、食事は吹上にある同じ系列の施設で手作りされていて、一人一人に合わせた食事形態のものが出されていました。

生活介護でニーズが高い入浴介助もやっついて、とても広いスペースで移動のリフトなど設備も整っていて、安心・安全に入浴もされていました。

責任者の方が「どんなに重い障害がある方でも、できる限り受け入れていきたいんです。」と話された言葉がとても印象的でした。医療的ケアがある

と、将来施設選びをするのが大変だと思っていました。実際に見学をしてお話を伺うことでいろいろ知ることができ、心強く、子どもの将来の選択肢が広がった気がしました。



「ふれ愛名古屋 s a t s u k i」
見学の様子

「名古屋ライトハウス光和寮を

見学して

小五・保護者 増田美穂子

二〇二三年七月四日、名古屋市昭和区にある「名古屋ライトハウス光和寮（以下、光和寮）」へ見学に行ってきました。小五・高三の保護者、合計十四

名の参加となりました。光和寮は、地下鉄御器所駅から徒歩十三分で、道中は歩道が整備され閑静な住宅街にありました。光和寮は歴史ある事業所さんですが、建物自体は新しく、7月に新築・移転されたばかりとのことでした。四階建てで廊下も広く、エレベーターも完備されていました。

初めに、四階のホールで、吉原課長さんより光和寮が行っている各事業について、丁寧にご説明をいただきました。光和寮には、B型就労継続支援事業所、生活介護事業所、障害者相談支援事業所などがあり、別の場所に福祉ホームや障害者グループホームもあるとのことでした。

その後、グループに分かれて各階を見学しました。グループに一人ずつ光和寮のスタッフさんがついて案内してくださいました。保護者が気になったことは、その場で尋ねることができました。一階のB型就労継続支援事業所では、近所の企業からの依頼で、ペン先を作る作業やDMをビニールに入れる作業などに、利用者さん各々のペースで取り組んでらっしゃいました。二階の生活介護（定員二十名/日）では、昼食の様子を見学させてもらいました。お手伝いや見守りをしてもらいながら、みんなで食事されていました。スペースの奥にはベッドが三台と、床にマットをひいて横になれる場所がありました。また、入浴サービスがあり、

広い脱衣所にベッドやお手洗い、洗濯機などがあり、浴室の中には機械化された入浴設備が整っていました。安全で快適な入浴のできる設備だと感じました。三階には広々とした食堂とデイルームがあり、就労継続支援の利用者さんが目の前の調理場で作られた出来立ての食事を召し上がっていました。見学後、質疑応答となりました。外観やホームページ等で分からないことをしっかりとご説明いただき、卒業後を検討するにあたり、大変有意義な施設見学となりました。



「名古屋ライトハウス光和寮」
浴室

第二回施設見学会 「福祉サービス事業ココロ を見学して」

高三・保護者 佐藤希

福祉サービス事業ココロさんは地下鉄桜通線野並駅から徒歩六分ほどのところにある生活介護事業所です。一階は車椅子を使う方中心で、二階は知的の方たちが過ごしていました。

一階では軽作業の他に製作、散歩、希望者には身体のケアなどもしてもらえるようです。二階は軽作業を中心に過ごしているそうです。

作業内容はその時により色々あるようですが、ラップの袋詰め、チラシにチラシを挟む、バリ取りなどがあるようです。二階ではそれぞれ黙々と作業してらっしゃいました。一階では一人に七人の職員さんがついて本人たちが作業を行えるようにと工夫してサポートしてらっしゃいました。毎月その方の活動に応じてお給料がもらえるそうです。

食事はスチーマーで温めて提供し、きざみ食にも対応してもらえるそうです。職員さんが利用者さんについて、「通いだしてからこんなことができるようになった」と教えてくれました。何歳になってもできるようになったことに目を向けてくれる姿勢に温かさを感じました。今回時間の関係で見学できませんでしたが、医療的ケア対象の施設は太白区の相生山駅から徒歩十二分のところにあるそうです。



「福祉サービス事業ココロ」
作業の様子

「クリエイイト東茶屋を見学して」

中二・保護者 山田愛実

クリエイイト東茶屋さんは二〇二三年九月開所した通所介護施設で、医療的ケアが必要な方から知的障害者の方まで幅広く受け入れています。

一階室内はとても広く、創作活動やパソコンなどできる机、プレイマット、ハンモック、少し休憩したいときは休憩用の静養ベッドも置いてあります。お風呂はリフトもあり、トイレは一階に三つ、二階に一つ。どのトイレも冷暖房付き、手すりや肘置きも付いています。外には仮園庭があり、隣にある保育園の子どもたちと交流ができるようにと計画中です。

二階にはレクリエーション室、利用者さんだけではなく地域のコミュニティや会議室としても使っていたいでいるそうです。二階外におおきなバルコニーがあり、雨や日よけ用の屋根付

きでとても広く、施設の方自慢のバルコニーとなっています。夏は水遊び、秋は焼き芋などを楽しむそうです。クリエイト東茶屋さんは設備なども充実しており、障害者の方と地域の方との交流をととても大事にされている、明るい素敵な施設でした。



「クリエイト東茶屋」
一階室内の様子

進路指導部から

今年度も本校の進路指導に御協力いただきありがとうございます。少しでも皆さんのニーズにあった進路指導ができていたら幸いです。

今年度の進路講話会では、社会福祉法人 名古屋身体障害者福祉連合会の事務局長である谷川陽美様に講話をしていただきました。講話の内容としては、卒業後の福祉サービスの概要

と行政へ申請する際の注意点などをお話していただきました。その中で、計画相談事業所を利用することの重要性も印象に残りました。現在、放課後等デイサービスを利用する際にセルフプランで利用している方も多くいると思います。しかし、計画相談を利用することで申請に関する負担軽減であったり、相談する窓口が増えたりするメリットがあります。現在、多くの計画相談事業所が利用希望者が多く、受け入れが難しくなってきているという話もよく聞きます。進路を考えるうえで、そういった準備も進めていただけると良いかと思えます。もし興味がある方は、各区の機関相談支援事業所に相談されると良いと思います。

また、新しい福祉事業所も最近多くできています。早めから少しずつ情報収集も進めていただけると将来の準備に余裕が出てくると思います。進路に関する質問や相談はいつでも学校にお知らせください。

今後とも本校の進路指導をよろしくお願いいたします。

インターネットで様々な情報を入手することもできます。

ウェルネットなごや
<http://www.kaigo-wel.city.nagoya.jp>
ワムネット
<http://www.wam.go.jp>

編集後記

今年度の進路委員会では、施設見学二回と全体交流会を実施しました。皆様の御参加ありがとうございました。

施設見学は四ヶ所の施設を見学させていただきました。三年ぶりに保護者の方々も施設を訪れることができ、実際に見たり、直接お話を聞いたりすることで、より具体的な質問が積極的に出されていたように思いました。どの施設も利用者の方々のニーズに合わせた支援や活動がされていて、我が子にはどういった施設が合っているのか将来を考える上で参考になるのではと感じました。

全体交流会では卒業生の保護者の方々より、現在のお子さんの状況や、進路の決め方、将来に向けて何をしておくとかなど、とても詳しくお話ししていただきました。頃、何をしていったらよいか具体的に見えてきて、漠然とした不安が少し軽くなった気がしました。

お子さんの進路や将来を考える上で、施設見学や全体交流会はとても参考になると思います。今後皆様御参加、よろしくお願いたします。

進路委員長 河合千枝子



全体交流会の様子